

「経済危機対策」における科学技術関係経費

平成21年5月

底力発揮・21世紀型インフラ整備

(1) 世界最先端研究支援強化プログラム(研究者最優先の研究システム)

2,700億円

- ・研究に集中できるサポート体制、多年度に自由に運営できる研究資金
など、従来にない全く新しい「研究者最優先」の制度の創設

＜独法に基金を設置＞

(2) 成長力強化のための高度人材の活用

17億円

- ・高度な専門的能力・知識をもつポストクの産業界での積極的活用、企業
研究者の活用による産学融合の実現

(3) 環境制約・資源制約の突破のための研究開発の推進

158億円

- ・環境技術開発拠点(物質・材料研究機構)の施設整備、
最先端の環境科学技術に関する情報発信機能の強化

80億円

- ・海底資源探査技術開発

40億円

- ・ITER計画の加速

25億円

など

(4) 地域の産業構造の変革

695億円

- ・各都道府県に地域産学官共同研究拠点を整備(47都道府県)

(5) 先端分野の国際競争力強化と世界最高水準の研究環境整備

276億円

- ・世界トップレベル研究拠点(WPI拠点)の施設・設備の整備
- ・素粒子・原子核物理学の振興

100億円

60億円

- 〔高エネルギー加速器研究機構の研究設備、
大強度陽子加速器施設(J-PARC)の整備〕

- ・衛星開発・利用の推進等(準天頂衛星等の開発・利用の促進)

100億円

- ・地震・火山観測基盤の構築

6億円

など

(6) 留学生の受入れ促進、若手研究者等の海外への留学支援

353億円

- (・若手研究者・大学院生等の海外派遣支援 300億円)
((5年間1.5万人～3万人) <独法に基金を設置> など)

(7) 大学等における教育研究施設・設備の高度化・老朽化対策の推進

1,589億円

- (・世界トップレベル研究拠点の施設・設備の整備 664億円)
(・基盤的教育研究施設・設備の整備 625億円)
(・教育研究高度化のための支援体制整備 (50大学) 300億円)
((研究支援者の活用、設備等の整備))

(8) 新学習指導要領の実施等のための教育環境の整備

200億円

- (・理科教育設備の整備(小・中・高・特別支援学校等))

健康長寿・子育て

(1) 健康長寿社会の実現に資する研究開発の推進

143億円

- (・iPS細胞等を用いた再生医療の実現 100億円)
([iPS細胞研究中核拠点(京都大学等)の設備整備])
(・脳研究加速のための実験設備整備 20億円)
(・橋渡し研究拠点の支援機能強化、重粒子線がん治療装置)
(の新型照射システム整備 22億円)
(など)

(2) 地域医療の期待に応える大学病院の機能強化

271億円

- (・放射線治療、救急医療機器の整備等 232億円)
(など)

その他、私立大学の耐震化の早期推進、エコ改修の拡大等ほか

計 6,562億円